

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略Ⅰ－（Ⅰ）

希望する結婚・妊娠・出産がかなう

基本的な方向性

- 若い世代が将来の生活を見通すことができるよう支援を行うとともに、年齢・身体的、経済的な理由等によって、結婚・妊娠・出産を諦めることがないよう、必要な環境を整えます。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
保育所等申込者に対する受入可能人数の割合	97.0%	97.7%	99.4%			100%
正規雇用促進補助件数【累計】	229 件	322 件	339 件			429 件

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・若い世代の出会いの機会創出を促進するため、民間事業者が開催する交流会の名義後援を行うとともに、若い世代が平塚市での暮らしや子育てのイメージを持てるよう、市ホームページやSNSを活用し市内外に向けて情報発信をしました。
- ・奨学金を返済している若い世代の経済的負担の軽減に向けて、奨学金返済額の一部を補助するとともに、希望する妊娠、出産がかなうよう不妊治療（先進医療）費や不育症治療費を助成しました。
- ・個別就労相談、企業合同就職面接会を開催したほか、企業向けの採用力強化セミナーや合同会社説明会を実施するなど、企業と求職者を結ぶ支援をするとともに、各種補助制度や奨励金により、雇用及び労働環境の改善や事業者の人材育成体制の整備を支援しました。
- ・保育所等の整備に対する助成を行うとともに、保育士確保に向けて、保育士確保特設サイトで市内民間保育所や本市独自の保育士支援策を紹介したほか、4市町合同での保育士就職応援フェアを開催しました。加えて、一時預かりや病児・病後児保育など特別保育の実施、放課後児童クラブの増設を進め、受入児童数を拡充しました。また、配慮が必要な児童への対応として、発達支援コーディネーターの育成に取り組むとともに、専門職による訪問・療育相談を実施しました。
- ・平塚・中郡地域で産科・小児科の二次救急を担う唯一の病院として、産科・小児科の救急患者を

受け入れ、地域の小児・周産期医療体制を維持し、安心して、出産、育児ができる環境を整備しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・若い世代の希望をかなえる総合的な支援が必要です。
⇒ライフデザインの提示や将来の妊娠・出産に向けた情報発信など、若い世代が将来の人生設計を安心して描くための対策を推進するとともに、生活基盤の安定に向けた支援に取り組むほか、未婚化を焦点とした結婚前後における取組を展開します。
- ・良質な労働環境による家計の安定、必要な技術や資格取得に向けた支援が必要です。
⇒関係機関と連携し、企業と求職者をつなぐ機会を創出するとともに、子育て世代の女性等を正規雇用する中小企業への助成や、人材育成体制の構築に取り組む中小企業等に対する専門家派遣や奨励金制度を実施します。
- ・保育需要を見極めながら、待機児童の解消や保育の質を向上する必要があります。また、各地区の放課後児童クラブのニーズに基づいた整備が必要になります。
⇒民間保育所などの小規模修繕の支援や定員の見直しに取り組むとともに、保育士確保や入所児童の保育環境の改善を図るため、施設運営費などの助成を行います。また、放課後児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、既存クラブの分割などを推進します。
- ・産科・小児科の二次救急は、採算性の確保が困難な部門であり、安定した病院経営を継続する必要があります。
⇒安定した病院経営のため、医師の確保に努めるとともに、市民病院の役割・機能を明確化・最適化し、休日・夜間診療所や地域の医療機関との連携を強化します。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【若い世代の希望をかなえる総合支援策の推進】（若者の未来応援事業、平塚の魅力発信事業、生きる力を育む学校づくり推進事業、母子保健事業、青少年奨学金返還支援事業）
- 【良質な就労環境による家計の安定】（就労支援事業、中小企業経営支援事業）
- 【必要な技術や資格取得に向けた支援】（中小企業経営支援事業）
- 【働きながら子育てができる環境づくり】（民間保育所施設整備支援事業、民間保育所助成事業、公立保育所等運営事業、地域療育システム事業、民間保育所保育士確保支援事業、特別保育拡充事業、放課後児童健全育成事業、小児医療費助成事業）
- 【周産期・小児救急医療体制の確保】（産科・小児科二次救急実施事業）
- 【保育所等におけるＩＣＴの活用】（民間保育所助成事業、公立保育所等運営事業）